



いいもの成らせるさくらんぼ便り

Vol.3 どの作業よりも受粉を最優先！**確実に果実を成らせよう！**

- ◆ 近年はこれまで以上に**結実が不安定**になっています
- ◆ 今年も、**凍害による小花の枯死が多い**樹も見られています
できる対策を1つでも多く実施し、確実に成らせよう

1 これまでの生育と今後の気象

- ・現在の「佐藤錦」の生育は概ね**平年並**。
- ・今後、日照は平年並～やや少ない予報。
開花期に悪天候の可能性あり。
- ・満開期は平年並の見込み。

■ 「佐藤錦」の満開期

地点	満開期	
	前年	平年
園芸農業研究所	4/20	4/25
山形市中野目	4/21	4/24
寒河江市三泉	4/21	4/25
東根市東根	4/21	4/26
南陽市高梨	4/21	4/28

2 今年の結実確保対策のポイント

◆ 今年も例年よりも**結実しにくい環境の園地**あり

- ・凍害による**小花の枯死が多い**
- ・**例年どおりに摘芽**を実施
- ・**訪花昆虫が少ない**

さらに**開花期の悪天候**が懸念

**どの作業よりも
人工受粉作業を
最優先**

+ 切り枝の設置、訪花昆虫の管理

3 結実確保対策

(1) 人工受粉

ア 人工受粉が必須な場面

- 要注意**
- ・ 昨年、早期落葉した
 - ・ 花芽の枯死が多い
 - ・ 摘芽した
 - ・ 開花期の天気が悪い
 - ・ 受粉樹と開花期が合わない
 - ・ 受粉樹が少ない

**必ず2回以上
人工受粉**

人手が足りない時は
daywork で募集！

イ 時期

- ◆ 少なくとも、**5分咲きと満開期の2回**
- ・ 悪天候の場合は晴れ間を逃さず何回も受粉！

ウ 方法

◆ 毛ばたき受粉

- ・ **花が乾いていれば、いつでもOK!**
- ・ 受粉樹から遠い樹を重点的に実施
- ・ 受粉樹を撫でた量の**3倍程度**受粉可能

(例：受粉樹の主枝を1本撫でたら、交配樹の主枝を2～3本受粉できる)



回転させながら
花粉を付ける

◆採取花粉を用いた受粉

- ・受粉樹から「風船状～開花直後」の花を摘み、開葯・希釈して使用（開葯翌日から使用可）
- ・「ぼんてん」を用いる場合は、開花直後の花をねらって受粉する



(2) 切り枝の利用

- ・開花直前の太めの枝を使う
- ・水揚げを良くするため、水差し時に切断面を切り戻す
- ・**受粉樹が少ない場所、受粉樹から遠い場所に多く設置**



(3) 防風対策

- ・風当たりの強いところでは、**防風ネット（目合い2mmまたは4mm目を二重にする）や古ビニールを風上側に設置**
※降霜時はネットや古ビニールのすそを上げておく

(4) かん水

- ・開花期までは**たっぷりかん水**（**開花期間中**に乾燥した場合も**かん水**）
- ・かん水の目安は**20 t / 10a (20 mm) 程度**（かん水施設がない場合は、樹冠下だけでもかん水）

4 「開花期防除」は適期を逃さず実施！

- ・開花直前、満開3日後の防除を遅れず実施
- ・雨が予想される場合は前倒し（**防除は雨の前が基本**）

◆やまがたアグリネットに会員登録（無料）いただくと、「**高温少雨対策マニュアル（R6年3月作成）**」「**さくらんぼ高温対策マニュアル（R7年3月作成）**」の閲覧が可能です。ぜひご覧ください。



↑会員登録用



↑高温少雨対策マニュアル閲覧用



↑さくらんぼ高温対策マニュアル閲覧用



**「やまがた紅王」「紅秀峰」は、「佐藤錦」より
生育が早いので、対策は早めに！
さくらんぼ着果確保は安定生産の第一歩！
努力は必ず実を結ぶ！**

村山総合支庁農業技術普及課
TEL 023-621-8291

西村山農業技術普及課
TEL 0237-86-8215

北村山農業技術普及課
TEL 0237-47-8630

山形さくらんぼブランド力強化推進協議会（事務局：農林水産部園芸大国推進課・農業技術環境課）



いいもの成らせるさくらんぼ便り

【豆知識】 切り枝設置や訪花昆虫利用のポイントについて

1 切り枝の設置について

(1) 切り枝採取のポイント

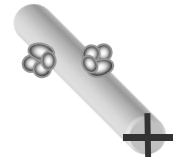
- 開花始めに「紅さやか」等の受粉樹の枝を切り出す。
(開花始期前に切ると、開花はするが、花粉量が少なくなる場合がある)
- 枝を採取する際は、基本的に樹勢が強い樹や強い枝から採取する。



■ 開花始期頃の状態

(2) 切り枝を長持ちさせるポイント

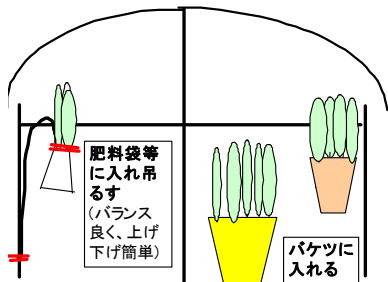
- 切り口を十字に割り、水差しする枝の部分をきれいに洗うと水揚げが良く花持ちが良い。
- 開花には多量の水分を必要とするため、定期的に水の量を確認し、補充する。
- 前年新梢を残して切る（新梢を切ると開花が上手く進まない場合がある）。



■ 太い枝は十字に割り水揚げを良くする

(3) 設置のポイント

- 園地に均等に設置するのではなく、受粉樹が少ない場所に設置する。
- 枝を入れたバケツに入れた際は風で倒れないように、パイプ等へ固定する。
- 袋に入れ、吊るして設置しても良い（袋は2枚重ねると水漏れしにくい）。



■ 袋に入れて吊るした際の設置例



■ 小型バケツの設置例

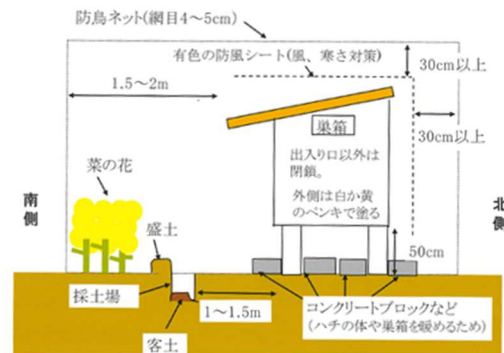


■ 大型バケツの設置例

2 訪花昆虫の利用について

(1) マメコバチのポイント

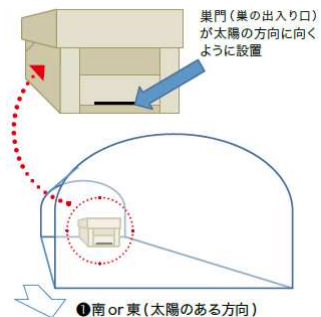
- できるだけ設置箇所数を多くし、新しいヨシを多めに補充する（3年を目安にマユ洗浄し、ヨシ筒を交換）。
- 巣の近くに土取り場を設置する（狭く、深く掘ると土が乾きにくく効果的。深さは40~50cm）。
- 蜜源とするため、訪花期間中はできるだけ、下草を除草しない。



■ マメコバチの巣箱の設置例

(2) ミツバチのポイント

- 巣箱は直射日光が当たらず温度変化が少ない場所に設置する。
(暑すぎたり、寒すぎたりするとハチの活動を悪くなる)
- 設置の際には、巣箱の出入り口を南又は東向きに向ける。
- 巣箱は地面に直接置かず、コンテナなどの上に置き、巣箱を水平もしくは後方を少し上げておく。
- 設置後、10分程度は静置してから巣門を開放する。



■ ミツバチの巣箱の設置例 (日本養蜂協会資料抜粋)